

# 患者の体に合った車いすを レンタル活用・鹿県内

鹿児島県内の病院や介護施設で、車いすのレンタルサービスを活用する動きが出ている。患者の症状や体格により適した車いすを用意でき、関係者は「患者の早期回復の支援につながる」と利点を語る。

鹿児島市の田上記念病院は回復期リハビリテーション病棟に23台を導入した。肘置きや足置きの位置が調整できるタイプ、座面の角度や背もたれの高さまで調整できるタイプ、リクライニング可能なタイプがそろそろ。使う時間が長いほど乗り心地は重要で、患者の反応も良好だ。60代女性は「状態に合わせて調整してくれ、快適に過ごせている」と喜んだ。

医療機関や福祉施設にとって、利用者一人一人に合った車いすを購入するのは難しかった。レンタルの場合、修理やひどい汚

れの清掃まで貸し出す側が行うため、従来担ってきた職員の負担軽減になるという。

仕組みを考案したライフステップサービス（埼玉県）によると、県内を含め全国で約70の病院や介護施設が利用。貸し出しだけでなく、患者の体格や、回復期で変化する身体機能に合わせて車いすの調整法を学ぶ研修が含まれるのが特徴だ。同社のほか、車いすの輸入元ラックヘルスケア（大阪府）、顧客との窓口になるカクイックスウィング（同市）が年4回程行う。

田上記念病院リハビリテーション部の川上剛部長（45）は「車いすは進化しており、改めて学べる機会」と研修を歓迎する。座面に角度をつけて立ち上がりやすくするなど、使い方によってリハビリ道具にもなる。「職員が直接指導するリハビリ時間以外を

## 「早期回復を支援」



① レンタルサービスで利用する3種の車いす  
② レンタルした車いすを利用する女性患者  
|| 鹿児島市西別府町の田上記念病院

いかに有効に使うかで、身体機能の回復に影響する。職員の調整技術をアップデートしていきたい」と話した。（藤本わかな）